



平成 20 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ティール・ワイ・オー

代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者

吉田 博昭

(JASDAQ・コード番号：4358)

問い合わせ先 取締役兼グループ執行役員 経営戦略担当

上窪 弘晃

電話番号 03-5434-1586

平成 20 年 7 月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 7 月期通期（平成 19 年 8 月 1 日～平成 20 年 7 月 31 日）の連結業績予想について、平成 19 年 9 月 27 日付「平成 19 年 7 月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

なお、本開示における決算短信数値等は監査法人による監査前数値であるため、監査後決算数値等とは必ずしも一致いたしません。

記

1. 平成 20 年 7 月期通期（平成 19 年 8 月 1 日～平成 20 年 7 月 31 日）連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	29,000	2,000	1,700	300
今回修正 (B)	31,900	1,900	1,550	700
増減額 (B-A)	2,900	△100	△150	400
増減率 (%)	10.0	△5.0	△8.8	133.3

2. 修正理由

当社グループは、事業戦略である独自の「マルチブランド戦略」（当社を事業持株会社とした多数の優秀なコンテンツ制作会社をグループ化する戦略）を実行し、新規会社設立及びM

&Aによるグループ拡大を図っております。当連結会計年度におきましては、平成19年10月に株式会社円谷プロダクション（以下「円谷プロ」という。）をグループ化したこと及び既存子会社の貢献により、当初予想より業績が増加する見込みとなりました。

売上高につきましては、グループ各社の売上高が順調に推移したこと、並びに上記円谷プロの子会社化に伴い、当初予想より2,900百万円増の31,900百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、上述の通り円谷プロは売上高に貢献はいたしましたが、同社は未だ経営再建途上にあり、今期は売上高増に伴う営業利益の貢献には至らない見込みです。既存グループ会社の営業利益は概ね期首予想通りに推移しておりますが、WEB事業及びエンタテインメント事業の一部グループ会社の検収時期のズレなどにより営業利益の減少要因となる見込みです。以上の結果、当初予想より100百万円減の1,900百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、上述の営業利益における要因により150百万円減の1,550百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上述の経常利益における要因と、平成20年1月21日付「平成20年7月期中間（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表したとおり、当社グループとバンダイナムコグループとの資本・業務提携に伴う円谷プロ株式の一部譲渡による特別利益を計上したことも増加要因として寄与いたしました。以上の要因を加味し法人税等を差し引いた結果、当初予想より400百万円増の700百万円となる見込みであります。

3. 平成20年7月期通期（平成19年8月1日～平成20年7月31日）個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	1,600	300	290	180
今回修正（B）	2,400	310	320	570
増減額（B－A）	800	10	30	390
増減率（％）	50.0	3.3	10.3	216.7

4. 修正理由

売上高につきましては、平成19年8月1日に立ち上げられたばかりの新規営業企画事業が、当初見込んでいた計画数値以上の案件受注を果たし、当初予想より800百万円増の2,400百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、金利上昇によりグループファイナンスの全体コストが上昇したことと円谷プロの経営再建に伴うコストを計上したことが一時的な減少要因となるも、新規営業企画事業の受注案件をグループ各社に制作発注した上で制作管理費が計上され、営業利益の増加要因となりました。その結果、当初予想より10百万円増の310百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、上述の営業利益における増加要因により 30 百万円増の 320 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上述の経常利益における増加要因と、円谷プロ株式の一部譲渡による特別利益を計上したことも増加要因として寄与いたしました。以上の要因を加味し法人税等を差し引いた結果、当初予想より 390 百万円増の 570 百万円となる見込みであります。

5. ご参考：前期の実績（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	18,912	708	585	210
個別	5,647	260	492	431

※事業年度の末日を変更したため、前期は平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日までの 10 ヶ月短縮決算となっております。

以上